

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	1	学校名	静岡県立下田高等学校 南伊豆分校	校長名	鈴木 孝明
------	---	-----	---------------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

賀茂地区における唯一の専門高校（園芸科）として、小規模校の強みをいかし、生徒が主体的に地域連携活動やキャリア形成に取り組む教育を通して、地域社会を支え、貢献する人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー ＜身に付けたい力＞	カリキュラム・ポリシー ＜目指す学び＞	アドミッション・ポリシー ＜望む生徒像＞
(1) 豊かな人間性と基本的な生活習慣の確立 (2) 確かな学力を持ち、農業の知識と技術・技能の力 (3) 幅広い視野を持ってこれからの社会を生き抜く力 (4) 地域や社会に貢献するための資質・能力	(1) 充実した授業・実験・実習と基礎学力の向上 (2) 自己目標の明確化と3年間を見通した進路指導 (3) 学びを生かすための積極的な地域連携・地域貢献 (4) 学び直しなどの多様な学びとその機会の充実	(1) 地域社会に貢献する高い志を持つ生徒 (2) 農業や園芸、食と環境に関する興味・関心を持ち、主体的に学ぶ生徒 (3) 実験や実習等に積極的に取り組む生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア すべてに優先する安心安全な学校づくり

- (ア) 個人情報管理及び交通安全対策（自転車運転マナーの向上等）、事故対応の徹底
- (イ) いじめ防止に向けた組織的対応
- (ウ) 防災体制の充実と教職員・生徒の防災意識の向上
- (エ) コンプライアンス研修の充実と教職員の危機管理意識の向上

イ 基本的な生活習慣を確立させ、自立心を持った生徒を育てる生徒指導の充実

- (ア) 積極的な挨拶の励行
- (イ) 特別活動の充実
- (ウ) 常識ある規範意識や心身の健康を図る意識の向上、自己管理能力の育成
- (エ) 図書環境の充実整備と利用促進、朝読書習慣の定着

ウ 地域の特性と農業の多面性を活用した学習の展開

- (ア) 地域連携の強化
- (イ) 農業クラブの積極的活動
- (ウ) SDGs活動の充実
- (エ) スマート農業学習の充実
- (オ) 学び直しによる基礎学力の定着
- (カ) 生徒の学力向上に向けた授業改善の実践

エ 地域への積極的貢献と情報発信

- (ア) 地域行事、地域防災等への積極的な参加
- (イ) 一対一交流の実施
- (ウ) マスコミ等への積極的な情報発信

様式第1号

オ 個に応じた丁寧な進路指導

- (ア) 計画的なキャリア教育の展開
- (イ) 人権教育の推進と特別支援教育の充実及び基礎学力の定着
- (ロ) 地元企業等への積極的なアピール及び連携

カ 学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質能力向上の推進

- (ア) チーム学校と育成指標に基づいた研修の充実

キ 働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築

- (ア) 学校行事の意義確認と精選
- (イ) 業務の効率化と協力体制の強化
- (ロ) 教職員のワークライフバランスの推進（休暇取得の促進、勤務インターバルの確保）
- (ハ) 職場環境の充実

ク 信頼される学校づくりの推進

- (ア) 事案に応じた計画的な準備と経費の適正執行
- (イ) 総務事務の集約化に伴う校務運営参画の確立

ケ 分校の特色を生かした他校との連携

- (ア) ICTを活用した学校間連携の検討と試行
- (イ) 学校行事、部活動等における合同実施の検討と試行

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	すべてに優先する 安心安全な学校づくり	個人情報管理及び交通安全対策（自転車運転マナーの向上等）、事故対応の徹底	○個人情報の流出0件。 ○重大事態発生0件。	教務課 (情報担当) 生徒課
		いじめ防止に向けた組織的対応	○安心安全アンケート（年3回）。 ○いじめ対策委員会の開催（各学期）。	生徒課 (保健) (教育相談)
		防災体制の充実と教職員生徒の防災意識向上	○防災訓練（年2回）。 ○外部講師による防災教育の実施。	総務課
		コンプライアンス研修の充実と教職員の危機管理意識の向上	○コンプライアンス研修の毎月実施。 ○外部関係者も含めた委員会を複数回実施し、意識の徹底を図る。	管理職 (研修)
イ	基本的な生活習慣を 確立させ、自立心 を持った生徒を育 てる生活指導の充 実	積極的な挨拶の励行	○毎朝の登校指導。 ○職員室入室指導。	生徒課
		特別活動の充実	○HR活動等でのコミュニケーション能力向上プログラム。	生徒課
		常識ある規範意識や心身の健康を図る意識の向上、自己管理能力の育成	○授業を大切にし、学習習慣を身につけ、提出物の期限を遵守する生徒80%以上。 ○長欠・不登校0、出席率90%以上。 ○遅刻者数、前年度数より減。 ○マナー・モラル向上（言葉遣い、服装・礼節等）指導（年5回以上）。 ○定期テスト前生活時間帯調査（年3回以上）	生徒課 教務課 進路課

様式第1号

		図書環境の充実整備と利用促進、朝読書習慣の定着	○図書館だよりの発行（年3回以上）。 ○図書室機能向上と貸出数80冊。	図書課
ウ	地域の特性を生かし、農業の多面性を活用した学習の展開	地域連携の強化	○地域機関や人材との連携20回以上。	農場課
		農業クラブの積極的活動	○県大会（意見・プロジェクト）各部門出場（3部門）、内入賞（2件以上）。	
		SDGs活動の充実	○SDGsの趣旨を踏まえた、地域を重点視野に入れた農業学習の実施。	
		スマート農業学習の充実	○施設の継続運用と新活用方法の検討。 ○全生徒が授業において施設活用する。	教務課
		学び直しによる基礎学力の定着	○公文式等を活用した学び直しの実施。	
		生徒の学力向上に向けた授業改善の実践	○シラバスの改善 ○基礎力テスト後の分析対応検討。 ○授業公開週間（年2回以上）。 ○授業公開への各教員参加（2回以上）。	教務課 進路課 (研修課)
エ	積極的な地域貢献と情報発信	地域行事、地域防災等への積極的な参加	○地域防災訓練参加率（50%以上）。	総務課
		一個人一交流の実施	○「総合的な探究の時間」で地域と関わる時間（各学年で2時間以上）。 ○生徒の地域交流機会（1日体験ナース等）の情報提供。 ○生徒の主体的な地域貢献活動への参加	教務課 進路課 農場課
		マスコミ等への積極的な情報発信	○分校だよりの隔月発行。 ○ホームページ・Instagramの更新（年30回以上）。 ○新聞社等へ取材依頼（年50回以上）。	総務課 管理職
オ	個に応じた丁寧な進路指導	計画的なキャリア教育の展開	○職場見学、インターンシップ、進路ガイダンス等の実施。 ○年度末までに進路の方向性を決める生徒（1年60%、2年80%、3年100%）。	進路課
		人権教育の推進と特別支援教育の充実及び基礎学力の定着	○コンプライアンス研修を踏まえ、学校内での人権に関わる諸事案の情報を共有し、人権意識が向上する。 ○通級巡回指導の実施 ○SCによる年度始めの1分間面談と毎月の個別相談の実施とフィードバック。 ○毎学期の面談、生徒情報の教員間共有。 ○学びの基礎診断を実施し、学び直しによる学力分析。	生徒課 (保健課) (教育相談) 教務課
		地元企業等への積極的なアピール及び連携	○役場や法人会、企業等と連携。インターンシップ、職場見学、面接練習の実施。	進路課 (総務課)
カ	学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質能力向上の推進	チーム学校と育成指標に基づいた研修の充実	○授業改善・観点別評価の研修（年2回）。 ○チーム研修（年3回以上）。	教務課 (研修) (管理職)

様式第1号

キ	働き方の見直しを図り、働きやすい職場の構築	学校行事の意義確認と精選	○行事等の見直し実施。	各課 管理職
		業務の効率化と協力体制の強化	○掲示板 DB 等の DB 活用 ○分掌ロッカーによるファイル管理。	
		教職員のワークライフバランスの推進（休暇取得促進、勤務インターバルの確保）	○夏季休暇の全員取得。 ○時間外勤務の削減（前年度減）。 ○時差勤務の推奨。	管理職
		職場環境の充実	○充実改善要望（実現5件）。	管理職 保健課
ク	信頼される学校づくりの推進	事案に応じた計画的な準備と経費の適正執行	○業務改善提案実践3件以上。 ○内部統制制度「リスク有り」業務についての発生ミス0件。 ○複数年の課題解消1件以上。	事務部
		総務事務の集約化に伴う校務運営参画の確立	○総務事務における本校と分校の業務合理化を図る。 ○校内分掌の事務室参画の検討。	事務部
ケ	分校の特色を生かした他校との連携	ICT を活用した学校間連携の検討と試行	○各種発表会の積極的な配信等を行い、学校間の連携を深める。	教務課 (情報) 農場課 進路課
		学校行事、部活動等における合同実施の検討と試行	○将来構想検討委員会で学校行事の合同実施の検討。 ○生徒のニーズに合わせた部活動の合同実施。	将来構想検討委員 管理職